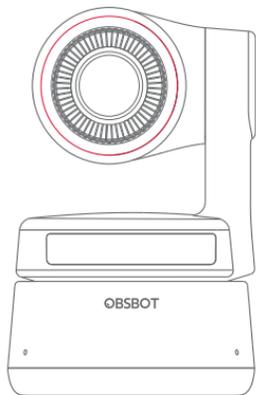


OBSBOT



## マニュアル

日本語

## ガイドンス

---

### 注意

△ 重要なお案内

### 使用前の推奨事項

お使い頂く前には本製品マニュアル、及び下記QRコードもしくはURLにアップロードされているビデオをご覧頂くことを強く推奨致します。

<https://obsbot.com/download>



### チュートリアルビデオ

<https://obsbot.com/obsbot-tiny-4k/explore>



## OBSBOT Tiny 4K の概要

### Tiny 4K について

AI が自動で被写体の動きを追跡することで、撮影中も自由に動き回ることできる画期的な WEB カメラです。

OBSBOT Tiny のユーザーから要望の多かった高画質化を行ったモデルとなります。USB-C を継承しつつ 4K 対応によって増大したデータ通信容量を確保したモデルとなります。Windows® 及び macOS® のパソコンでお使い頂けます。

OBSBOT TinyCam を使って操作の幅を広げましょう。

#### △ パソコンとの接続について

- ① USB 3.0 のポートに接続すること
- ② USB 2.0ポート + DC 電源ポート

もし Tiny 4K をお使用して映像の乱れや遅延、ちらつき、頻繁な再起動が起きている場合には USB 2.0 経由でパソコンに接続されている可能性が高いです。DC 電源ケーブルをお使い頂くか USB 3.0 のポートに差し直してもう一度お試しください。

#### △ システム要件

Windows 7、Windows 8、Windows 10 もしくはそれ以降

macOS 10.13 もしくはそれ以降

Intel 第七世代以降の CPU Core i5 もしくはそれ以上

#### △ 1080P 60FPSと4Kをお使いの場合の推奨環境

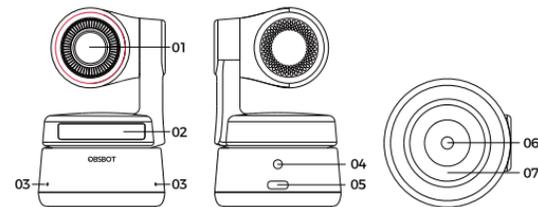
Apple製品向けの推奨スペック

- ① MacBook Pro (2018, 8世代以降の Intel® Core i5 もしくはそれ以降のもの)
- ② MacBook Air (2018, 8世代以降のIntel® Core i5 もしくはそれ以降のもの)
- ③ Mac Retina (2019, 8世代以降の Intel® Core i5 もしくはそれ以降のもの)

その他製品向けの推奨スペック

- ① CPU: Intel 7 世代以降のIntel® CPU Core i5 もしくはそれ以降のもの)
- ② メモリ容量(RAM)8GB 以上

## ハードウェア各部説明



1. 4K ウルトラ HD レンズ
2. カメラインジケータ
3. マイク
4. DC 電源ポート
5. USB タイプC ポート
6. 三脚用ねじ穴 (UNC 1/4-20)
7. マグネット接合部分

## OBSBOT Tiny 4K のセットアップ方法

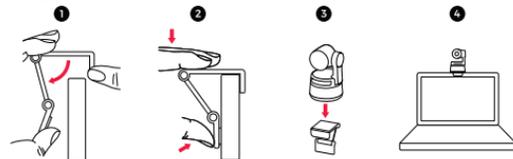
### OBSBOT Tiny 4K を設置する

OBSBOT Tiny 4K は、モニター、デスクトップ上に設置するために、本体にマグネット接合部分を有しています。その他ねじ穴を使用して、三脚等もお使い頂けます。

#### 1. モニターの上に設置する

下記の手順に従って設置してください。

- ① マグネット土台を箱から取り出して、接着面を開きます。
- ② 接着面の剥離紙をはがし、モニターの背面に取り付けます。
- ③ マグネット土台がモニター上にしっかりと固定されていることを確認し、OBSBOT Tiny 4K を乗せます。
- ④ 設置完了です。



## 2. デスク上等での設置

デスクに直接 OBSBOT Tiny 4K を設置します。

## 3. 三脚を使用しての設置

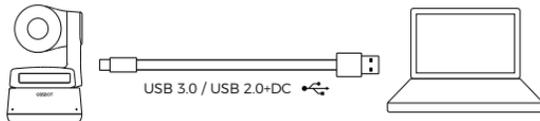
OBSBOT Tiny 4K は標準的な UNC 1/4-20 ナットコネクタで、三脚スタンドに取り付けることができます。

## OBSBOT Tiny 4K を PC と接続する

OBSBOT Tiny 4K は Windows 及び Mac のパソコンでお使い頂くことができます。Tiny 4K をご使用の際は付属品を初めとした信頼性の高い Type-C のケーブルをお使いください。Type-C to A の変換アダプタも適宜お使いください。付属の Type-C ケーブルを用いて、OBSBOT Tiny を PC に接続しますと、カメラデバイスとして自動的に認識されます。※認識されるまで数秒お待ち頂く場合がございます。これで、Zoom、Microsoft Teams や Skype や Google Meet などの通話アプリをお使いいただき、Tiny 4K ストリーミングを行うことができます。

△ 長時間 Tiny 4K をお使いの場合は底面が熱くなることがありますが、通常の様となります。

△ ① USB 3.0 のポートをお使い頂くか ② USB 2.0 ポート + DC 電源ポート 4K 入力、ソフトウェア側で 4K 入力に対応している必要があります。予め各社 WEB サイト等でご確認下さい。



## ジンバルについて

OBSBOT Tiny 4K は 2 軸ジンバルを採用しています。横軸 (パン) の可動範囲は  $\pm 150^\circ$  縦軸 (チルト) の可動範囲は  $\pm 45^\circ$  となります。

## プライバシーモード

カメラ部分を下に下げます。プライバシーモードがオンの状態だと、OBSBOT Tiny 4K インジケータが消灯します。

△ プライバシーモードではビデオ、及び音声の一切の録画を停止します。



## 上下反転モード

OBSBOT Tiny 4K は上下を逆さまにした撮影モードを搭載しています。本体部分 をを逆向きにセットすると、上下反転した状態で撮影が可能です。

## ハンドジェスチャー機能

OBSBOT Tiny 4K は、手の動き (ジェスチャー) にてカメラを操作する機能を実装しています。

操作は「追跡対象の選択/解除」「ズームイン/アウト」の二種類となります。これらの操作はジェスチャー操作のみで完了出来ます。

撮影を中断する必要はありません。

ジェスチャーを行う際には、自分の顔の真横で実施してください。ジェスチャーが正常に認識された場合、カメラインジケータの3つの青色のライトが1つずつ点滅します。

△ ハンドジェスチャーについてのさらに詳細な説明はビデオをご覧ください。  
: <https://obsbot.com/obsbot-tiny-4k/explore>



「パー」: 追跡対象の選択/解除



「L」: 設定した倍率でのズームイン/アウト

## ズーム

OBSBOT Tiny 4K は 4 倍デジタルズームに対応しています。

① ハンドジェスチャーでの操作

デフォルトのジェスチャーでのズームの倍率は 2 倍になっています。OBSBOT TinyCam 上の設定で 1~4 倍に変更することが出来ます。

② 手動での操作

OBSBOT TinyCam 上での操作でもズームの倍率は 1~4 倍の間で自由に変更可能です。

## フォーカステクノロジー

OBSBOT Tiny 4K は 2 つの焦点モードを用意しています。

### ① オートフォーカス

OBSBOT's AI に裏打ちされたオートフォーカス機能は移動していても常にフォーカスを被写体に合わせたままにすることが可能になりました。

### ② マニュアルフォーカス

OBSBOT TinyCam 上でオートフォーカス機能をオフすることで、マニュアルフォーカスに変更することが可能です。

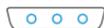
## HDR

デフォルト状態では HDR 機能はオフになっています。OBSBOT TinyCam 上でオンにすることが出来ます。HDR を使うと多少部屋が暗くてもくっきりと綺麗に映ります。また直射日光に当たっていても軽減する高価があります。

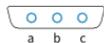
## インジケーターステータス

### カメラインジケータ

カメラインジケータは、赤、黄、緑、青の 4 色で構成されています。色、及び点灯/点滅の組み合わせで様々な動作状況を表します。これにより、現在のカメラの状態を知ることが出来ます。



3 つの青色のライトが全て規則的に点滅する場合は、デバイスが初期化されていることを表します。



3 つの青色のライトの内、1 つずつ点滅した後、全て点滅した場合は、あなたのジェスチャーが正常に認識されたことを表します。



中央の緑色のライトが点灯している場合は、追跡対象が指定されていないことを表します。



3 つの緑色のライトが全て点灯している場合は、追跡対象が指定されていることを表します。



3 つの黄色のライトが全て点滅している場合は、ターゲットを見失っている状態を表します。



青色と黄色のライトが交互に点滅している場合は、デバイスのアップグレード中であることを表します。



3 つの赤色のライトが全てゆっくりと点滅する場合は、アップグレードに失敗したことを表します。



3 つの赤色のライトが全て点灯した場合は、ジンバルの障害や AI 自体のエラーなど、製品が異常を検知したことを表します。

## OBSBOT TinyCam (専用操作ソフトウェア)

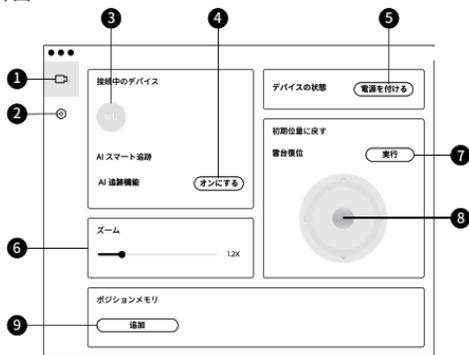
### ソフトウェアの概要

OBSBOT Tiny 4K は、専用のソフトウェア「OBSBOT TinyCam」を使用することで、より細かな操作やジェスチャーにはない機能を実行することが出来ます。WEB カメラ自体と同様に、Windows と Mac でソフトウェアをお使い頂けます。

### インストールについて

ソフトウェアは、以下のページからダウンロードが出来ます。  
<https://www.obsbot.com/download>

## 主介面



### 1. 基本画面

### 2. 詳細設定画面

### 3. 接続について

Tiny 4K との接続の状態が表示されます 1 つのパソコンにつき、最大 4 台までの Tiny 4K を接続、操作させることが出来ます。

### 4. AI スマート追跡

自動追跡のオン/オフを切り替えることが出来ます。追跡したい人物にカメラを向けた状態で「オンにする」を選択すると追跡を開始し、追跡中に「オフにする」を選択すると追跡を停止します。

### 5. デバイスの状態

電源のオン、オフをソフトウェア上で実施可能です。

### 6. ズーム

デジタルズームイン/アウトを行うことが出来ます。バーをスライドすることで、1 倍から 4 倍の間でズームを調整することが出来ます。

### 7. ジンパルリセット

カメラの向きを初期位置 (本体 OBSBOT ロゴに対して真正面) に戻すことが出来ます。

### 8. カメラのコントロール

マウス操作でカメラの向きを手動で動かすことが出来ます。

### 9. ポジションメモリ

ポジションメモリを設定します。ポジションメモリは、「お好みのカメラの向きを記憶させ、クリック一つで記憶させた向きにカメラを切り替える」機能で、3 つまで記憶させることが出来ます。該当のポジションメモリを右クリックすることで、削除もしくは名称の変更をすることが出来ます。

右クリックで削除、もしくはポジションメモリの名称を変更可能です。

## 詳細設定画面

### 1. ソフトウェアのバージョン

現在のソフトウェアの ver を表示しています。「アップデート」のボタンがある場合は、クリックすることで最新版のソフトウェアにバージョンアップすることが出来ます。

### 2. ファームウェアのバージョン

ファームウェアのバージョンを表示しています。「アップデート」のボタンがある場合は、クリックすることで最新版のファームウェアにバージョンアップすることが出来ます。

### 3. ジェスチャー/追跡対象を固定

デフォルトではオンになっています。オフにした状態にするとパーのジェスチャーを認識しなくなります。

### 4. ジェスチャー/ズーム

デフォルトではオンになっています。オフにした状態にすると L 字のジェスチャーを認識しなくなります。

### 5. ジェスチャーでのズーム倍率を変更

デフォルトのジェスチャーでのズームの倍率は 2 倍になっています。ここでの設定で 1~4 倍に変更することが出来ます。

### 6. 追跡モード

3 つの追跡モードが用意されています。デフォルトでは標準モードが選択されています。

① 顔優先モード顔を中心に追跡を行います。

推奨の使用法カメラとの距離が近い場合の WEB 会議。

② 標準モードごく一般的なWEB通話を想定したモードです。標準的な追跡速度やフレーム設定です。

③ 高速モードAI追跡の速度を高めた比較的早い動きを想定したモードです。推奨の使用方法ダンス、ヨガ、その他屋内スポーツでの使用。

#### 7. 輝度の調整 (Windows 既定)

Windows 既定の輝度調整画面に移動します。Mac 版では該当機能がないため表示されません。

#### 8. ちらつき防止

デフォルトではオフになっています。アンチフリッカー (光のちらつき対策) をオフ/50Hz/60Hzに変更することが出来ます。

#### 9. HDR

デフォルトではオフになっています。オンにすると、光の露出の相違を検知して画面上で修正します。

#### 10. オートフォーカス

デフォルトではオンになっています。オフにすることで手動フォーカスに切り替えることが出来ます。

#### 11. フェイスフォーカス

デフォルトではオンになっています。追跡の中心が顔に設定されている状態です。オフにすると追跡の中心が画面フレームになります。

#### 12. 起動時の初期位置

Tiny 4K を初期位置に戻すを選択した時の初期位置を定義します。

#### 13. ポジションメモリ

デフォルトではオフになっています。ポジションメモリは、「お好みのカメラの向きを記憶させ、クリック一つで記憶させた向きにカメラを切り替える」機能で、3つまで記憶させることが出来ます。該当のポジションメモリを右クリックすることで、削除もしくは名称の変更をすることが出来ます。

#### 14. ショートカットキー

デフォルトではオフになっています。ボタンを押すショートカットキー一覧を参照することが出来ます。

#### 15. リモコンモード

デフォルトではオフになっています。オンにするとパソコンに接続した Tiny 専用のリモコンで Tiny 4K を操作すること

が出来ます。

△ OBSBOT オフィシャルストアで今すぐゲットしましょう!

#### 16. 言語設定

OBSBOT TinyCam の使用言語を設定します。

#### 17. その他

① ログを出力するログファイルをエクスポートすることが出来ます。不具合が起きた際のサポート等の時にご使用頂く可能性があります。

② アップグレードの手引きファームウェア更新。

③ ファームウェアを更新します。ファイルを別でダウンロードした上でマニュアルでの更新となります。

④ 工場出荷状態にリセットする。

## ファームウェアのアップグレード

Tiny 4K は OBSBOT TinyCam 経由でアップグレードすることが出来ます。使用可能なアップグレードがある場合には更新ボタンが表示されます。画面上の手続きに従い継続して下さい。

△ Tiny 4K をアップグレード中は絶対にパソコンから外さないようにしてください。  
<https://obsbot.com/service/user-guide> も併せてご覧頂けます。

本マニュアルは予告なく変更される場合があります。

最新版のマニュアルは下記のREMO TECHの公式ウェブサイトからダウンロードすることが出来ます。

<https://obsbot.com>